

シ同委員座長席ニ着ク

伊藤幹事 民族衛生ニ關シテハ從來内務省ニテ部分的ノ調査ハナシタルモ之ハ重要ニシテ關係スルト
コロ廣汎ナルヲ以テ去ル三月開會ノ保健衛生調査會ノ總會ノ決議ニ依リ之ニ關スル特別委員會設置
セラレ各位ニ之ガ特別委員ヲ煩ハスコトナレリ盡力ヲ請フ尙參考ノタメ幹事ノ作成セル別紙調査
項目ヲ配布シタル旨ヲ述ブ

委員長 審議ノ方法ニツキ幹事案ノ項目ニ依ルベキカ又ハ該案ニ拘泥セズ自由ニ所信ヲ述ベラルルカ
何レニスベキカト諮ル

永井委員 民族衛生調査ノコトタル重要且廣汎ノ問題ニシテ調査ノ如何ニ依リテハ經費ヲ要スルモノ
モアルガ先ヅ睫眉ノ急ヲ要スト認ムルモノヨリ一項目宛解決スルコトトシテハ如何例ヘバ産兒調節
ノ事項ハ人口食糧問題、經濟問題等ト關聯シ現下相當世ノ視聽ヲ蒐メツツアル事項ナルヲ以テ之ヨ
リ着手スルガ如キ兎ニ角本日ハ一般的ニ意見ヲ述ベ追テハ小委員ヲ選定シテ調査スベキ項目ヲ決定
セラレタシ且當局ニテハ吾等ノ調査ノ結果ヲ行政上如何ナル程度ニ有效ニ取扱ハルルヤ

赤木局長 國情ニ適スル有效適切ナル良案ヲ樹テラレタシ當局者トシテ及ブ限リソノ主旨ノ實現ニ努
カスベシ

大野委員ノ希望ニヨリ氏原幹事、配布ノ幹事案ヲ各項目ニツキ説明ス

磐瀨委員 避妊ピンヲ用ヒテ怖ルベキ疾患ニ罹レル外來婦人患者アル例ヲ其ノピンヲ示シテ説明シ此
ノ種器具ノ害毒ヲ述ブ

三田委員 産兒制限方法ヲ實際ニ適用スルモノハ寧ロ中流、上流ノ階級ニ屬シ貧民ハ却テ之ヲ實行セ
ズ爲ニ世上産兒制限ヲ以テ防貧乃至貧救ノ一手段ト信ズルモノアルヒ之ハ當ラザル旨ヲ述ブ

白松幹事 産兒制限ニ關スル圖書ノ取締ニツキ現況ヲ述ブ其ノ他民族衛生ニ關シ一般的ノ事項殊ニ産
兒調節問題ニツキ種々意見ノ交換ヲ行ヒ次回ハ來ル七月八日(火曜日)ニ開會シ引續キ産兒調節ニ
關スル事項ニツキ審議スルコトニ決シ其ノ他滅種法ニ關スル各國ノ立法例ヲ印刷シテ各委員ニ配布
スルコト及避妊用ノ器具ニツキ現行法規ノ下ニテ取締リ得ルヤ否ヤニツキ幹事ニテ研究スルコトト
シ午後三時三十分散會

民族衛生ニ關スル件

- 一、民族素質ノ改善ニ關スル事項
- 二、優性及劣性遺傳ノ法則ニ關スル事項
- 三、不良素質者、惡質遺傳者ノ繁殖防止方法ニ關スル事項
- 四、滅種方法 Sterilization 實施ニ關スル各國立法例及其ノ成績ニ關スル事項

- 五、人口、社會及保健問題トノ交渉範圍ニ關スル事項
- 六、産兒調節ニ關スル事項
- 七、國民體位ニ及ボス環境ノ影響ニ關スル事項
- 八、民族衛生調査機關設置ニ關スル事項
- 九、其ノ他民族衛生ニ關シ必要ナル事項

第二一回

昭和五年七月八日午後二時十分ヨリ内務省會議室ニ於テ開會

出席者 北島委員長

磐瀨、永井、大野、長與、三田、岡村、赤木、栗山、岩住各委員

伊藤、白松、高野、氏原各幹事

南崎、内藤、野邊地各技師

議事ノ經過

磐瀨委員 産兒調節相談所ハ公ニ許サレアルヤ

赤木局長 放任行爲ナルモ違法ノ廉アラバ取締ルコトヲ得

委員長 本日配布アリタル滅種法ニ關スル印刷物ニツキ説明アリタシ

氏原幹事 滅種法ヲ社會施設トシテ初メテ取り入レタルハ米國ニシテ同國中現ニ二十三州ニテハ法律ヲ公布シテ之ヲ施行シツ、アリ其ノ他カナダ、シユワイツノ二、三州、デンマルクニモ此ノ種法律ノ制定、實施アリ其ノ他滅種ノ方法及滅種ヲ適用スベキ人ノ範圍ニツキ説明

永井委員 米國ニテ滅種ノ施術ヲ受ケタルモノ、總數ハ今日迄ニ約一萬二千人ニシテ最モ多キハカリホルニアノ約七千五百人ナリ、インデヤナ州ハ法律施行前ヨリ滅種ヲ行ヒシモ其ノ數ハ今日マデ千人位ナリ、滅種ヲ施行スル精神ハ民族衛生ノ立場ヲ主トシ刑罰關係ノモノハ副ナリ

氏原幹事 米國ノインデヤナ州、ワシントン州ニテハ常習的ノ犯罪者及強姦ヲナシタルモノ等反社會性ノ顯著ナルモノニ適用アリ

永井委員 日本ニテハ犯罪者ニ適用スルハ考慮ヲ要ス何所マデモ優生學的見地ヨリ施行スベキモノナラム

委員長 米國ナドニテ滅種法ヲ實施シタル際何等カ問題惹起セザリシヤ

氏原幹事 憲法上人ハ平等ノ保護ヲ受ケ權利ヲ主張シ得ルニ人トシテノ機能ヲ剝奪スルハ不都合ナリ
憲法違反ナリトノ説起リテ大審院ニテ此ノ説ヲ認メ判決ヲ下シタル事例モ一、二アリシモ大體ハ滅種法ノ適用ヲ受クルガ如キ不具者ニハ差支ナシトスルヲ通念トス

永井委員 滅種法ノミナラズ民族衛生問題ノ審議ニハ立法關係ノ事項多キヲ以テ法律專門家殊ニ刑法ノ專門家ヲ委員ニ加フル意向ナキヤ

赤木局長 問題ノ進行ニヨリテハ御希望ニ副フ如キ取計ヲナスコトアルベシ

大野委員 癩病院ニテ患者ノ承諾ノ下ニ患者ニ對シ精系離斷法ヲ行フ如キハ傷害罪ヲ構成セザルヤ

氏原幹事 醫療ノ範圍ニテ其ノ必要アリ且本人ノ希望スル場合ハ差支ナカラム

大野委員 醫療ノ範圍カ否カ、議論ノ岐ル、トコロナラムモ斯ル患者ニ對シ必要アラハ滅種法ヲ施行シ得ルヤウ法律ヲ制定スル必要アルベシ

永井委員 感化院ノ被收容者中ニハ被感化能力ナキモノ尠カラザル如シ

大野委員 感化院刑務所ノ被收容者中ニハ醫療ノ範圍ニ屬スルモノ相當數アリ感化院長モ自己ノ手ニ餘ル領域アルヲ發見スルニ至レリ、斯ル精神上異常アルモノヲ收容スル新施設ヲ要ス滅種ニ關スル適當ナル法案ヲ立案スルコトヲ要セム

赤木局長 法ヲ制定スルトセバ滅種スベキ疾病及其ノ疾病ノ程度ヲ如何ニスルカ、犯罪者ヲモ入ルルカ如何ナル方式ニテ行フカ、研究スベキ事項多カラシ

伊藤委員 前回宿題トナレル避妊用器具及藥品ノ現行取締ニツキ左ノ如ク述ブ

1、器具ニ就テハ取締規定ナシ

但シ治安警察法第十六條ニ依リ街頭其ノ他公衆ノ自由ニ交通スルコトヲ得ル場所ニ於テ風俗ヲ害スルノ虞アリト認めラル、場合ハ取締リヲ受ク又之ニ關シ虛偽誇大ノ廣告ヲナストキハ其ノ方面ヨリ取締ヲ受ク

2、藥品ニ就テハ賣藥ハ免許制度ナルヲ以テ免許ヲナス際取締ルコトヲ得ルモ新藥ハ衛生上ノ危害ナキモノハ放任行爲ナリ之ヲ要スルニ現行法規上藥品ヲ除ク外器具ニ就テハ取締規定ナシ

警視廳保健係長ヨリ警視廳管下ニ於ケル産兒調節ノ取締狀況ニツキ聽取シ午後四時散會(配布印刷物省略)

第三回

昭和五年十月二十日午後二時ヨリ内務省會議室ニ於テ開會

出席者 北島委員長

磐瀬、永井、大野、三田、岡村、赤木、栗山、岩住各委員

伊藤、白松、高野、氏原各幹事

議事ノ經過

委員長 開會致シマス議案ノ御説明ヲ願ヒマス

伊藤幹事 避妊ピン其ノ他避妊用器具ニシテ衛生上危害ヲ生ズル虞アルモノアルヲ以テ之ニ對シ取締

規定ヲ設クル必要アリトノ御意見ニ基キ本日提案ノ避妊用器具取締規則案ヲ作成セリ此ノ規則ノ根據ハ明治三十三年法律第十五號飲食物其ノ他ノ物品取締ニ關スル法律第一條「販賣ノ用ニ供スル飲食物又ハ販賣ノ用ニ供シ若ハ營業上ニ使用スル飲食器、割烹具及其ノ他ノ物品ニシテ衛生上危害ヲ生ズルノ虞アルモノハ法令ノ定ムル所ニ依リ行政廳ニ於テ其ノ製造、採取、販賣、授與若ハ使用ヲ禁止シ又ハ其ノ營業ヲ禁止シ若ハ停止スルコトヲ得」中ノ其ノ他ノ物品トアルニヨリ之ニ依リ衛生上危害ヲ生ズルノ虞アル避妊用器具ヲ對象トシテ取締ラムトスルモノナル旨ヲ述べ更ニ逐條ニツキ説明アリタル後次ノ質疑應答アリタリ

大野委員 「其ノ他ノ物品」ヲソコマデ含マレルモノト解シテ差支ナキヤ

伊藤幹事 狹義ニ飲食物關係ノモノ、ミト解スルモノアルモ既ニ玩具、有鉛白粉ニ適用シタル例モアレバ差支ナシト存ズ

永井委員 法律第十五號ノ罰則ト本規則ノ罰則トノ間ニ距離アルガ差支ナキヤ

伊藤幹事 法律第十五號ノ三條ハ廢棄處分ニ違反シタルモノニ對スル罰則ナルガ本規則第四條ノ罰則ハ法律第十五號ニ基キテ公布シタル命令ニ違反シタルモノニ對スル罰則ナリ

大野委員 何故ニ「製造」ヲ入レザルカ

氏原幹事 醫師ノ側トシテカ、ル物品ヲ必要トスル場合モアレバ製造ハ本規則ニ入ル、能ハズ

大野委員 藥品ニ就テハ如何ニスルカ

伊藤幹事 部外藥品取締規則ニテ考究中ナリ

大野委員 藥品モ物品ニ入ラスヤ

氏原幹事 藥品ハ賣藥部外品ニテ取締ルモノナリ

避妊用、器具ハ金屬性ニ限ラズ象牙性ニテモセルロイド性ニテモ材料ニ制限ナシ

大野委員 藥品ハ取締ツテ居ルカ

白松幹事 賣藥トシテハ避妊ヲ目的トスルモノハ許可セズ部外品ハ各府縣ニテ思ヒ／＼ニ取締ル從テ

其ノ取扱動モスルトマチ／＼ニナル傾キアリ旁目下賣藥部外品ノ取締規則ヲ立案セントシテ研究中ナリ

大野委員 一般ノ部外品ト引離シテ之ニ入レラレナイカ

赤木委員 藥品ハ藥品ノ系統ニテ取締ルツモリナリ

大野委員 廣告ノ取締ハ如何ニスルカ

赤木委員 廣告ノ取締ハ必要デハアルガ衛生問題ニアラズシラ保安問題ト存ズ

大野委員 委員會トシテ研究スルハ差支ナカラム

伊藤幹事 無論差支ナシ尙斯ル物品ノ取締ニツキ米國ニテハ郵便ヲ發送スルトカ運送ニ托スルコトヲ

禁止シテ間接ニ取締リ佛國ハ直接ニ嚴重ノ取締ヲナス

赤木委員 此ノ案ハ最少限度ノ所ニテ歴ヘントス根本的ニ此ノ問題ヲ決定スルコトハナカク困難ナラム

磐瀬委員 此ノ規則ニテハ醫師ハ避妊ピンヲ使用シテ善イコトニナルガ之ハ何人ニモ絶對ニ使用セシメタクナシ

赤木委員 ソレニハ但書ヲ廢シ第二項ニ二、三ハ醫師ナラヨシトスレバ出來ル

大野委員 絶對禁止ト相對禁止トスルコトニスルガヨイ

委員長 ソノ通り書キ直シ尙ニ子宮注入器ト改ムルコトニス

赤木委員 用途デ書クト問題起ラザラム即チ子宮ニ藥液ヲ注入スル器具トナス如シ

委員長 「子宮注入器其ノ子宮内ニ挿入スル器具」トスルコトニ至シマス

伊藤幹事 第一條中「但シ第二號、第三號ノ物品ニシテ醫療用器具トシテ醫師ノ用ニ供スルモノハ此ノ限ニアラズ」トナシテハ如何ト諮リ可決

大野委員 經過規定ハ何如ニスルヤ

赤木委員 現ニアルモノデモ廢棄セシムルツモリ

次ニ第二條、第三條、第四條、第五條ニツキ審議

委員長 罰則ハ之デヨイカ

伊藤氏原兩幹事 輕微ノ罰ニテハ懲リズニ非違ヲ重ネ易キ傾アルヲ慮リ内務省令ニテユルス最高ノ罰ヲ課セリ

磐瀬委員 避妊ニ關スル相談所ヲ取締ルコトハ出來ナイカ

赤木委員 避妊ニ關スル根本方針ヲ如何ニスルカ、相談所ハ如何ニスルカ等ノ問題ハ追テ審議ヲナス

コト、シ今回ハ先ヅ其ノ第一段トシテ本規則ノ事項ノミ取離シテ審議ヲ請ヘル次第ナリ
委員長 カ、ル問題ニ關シ警保局ハ如何ニ考ヘテ居ルカ

伊藤幹事 此等ノ問題ニツキ警保局所管ノ事項ニテモ保健衛生調査會ノ意見ヲ表示スルコトハ結構ナリ

次回ハ相談所ニ關シ警保局ノ人ヨリ意見ヲ聽取スルコトニ申合セ午後三時十分散會

避妊用器具取締規則案

第一條 左ノ物品ハ之ヲ販賣若ハ授與シ又ハ販賣ノ目的ヲ以テ陳列若ハ貯藏スルコトヲ得ズ但シ醫療用器具トシテ醫師ノ用ニ供スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一、避妊ピン

二、子宮洗滌器

三、其ノ他衛生上危害ヲ生ズルノ虞アル避妊用器具ニシテ内務大臣ノ指定スルモノ

第二條 地方長官ハ前條ノ物品ニ關シテ明治三十三年法律第十五號第一條ニ依リ處分スルコトヲ得

本令ニ違反シタル營業者ニ關シテ亦同ジ

第三條 地方長官ハ本令ノ執行ニ關シ明治三十三年法律第十五號第二條ノ職權ヲ行フコトヲ得

第四條 第一條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金若ハ科料又ハ三月以下ノ懲役若ハ拘留ニ處ス

第五條 營業者ガ未成年者、禁治産者又ハ法人ナルトキハ本令ノ罰則ハ其ノ法定代理人又ハ代表者ニ

適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

營業者ハ其ノ代理人戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本令ニ違反シ

タルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

附 則

本令ハ昭和年月日ヨリ之ヲ施行ス

三、農村衛生狀態改善ニ關スル特別委員會

第一回

昭和五年六月二十五日午後一時四十分ヨリ中央會議所ニテ開會

出席者 宮川、栗本、佐伯、唐澤、矢作、赤木、横手、那須各委員

伊藤、白松、高野、氏原各幹事

南崎、樫田、内藤各技師

議事ノ經過

横手委員ノ動議ニテ柳澤伯ヲ委員長ニ選定シ本日ハ同伯缺席ニツキ栗本委員年長ノ故ヲ以テ之ヲ代理ス

伊藤幹事 本委員會ハ先般ノ總會ニテ設置ノコトニ決定セラレ本日之ガ第一回委員會ヲ開催スルニ至ツタガ其ノ目的ハ内務省ノ調査及内務省ト同一方針ヲ以テ地方廳ニテ調査セル農村衛生實地調査ノ成績等ニ基キ有効適切ナル農村衛生狀態ノ改善方策ヲ樹テラレタキニ在リ從來部分的ノ改善策ハ考究實施セラレツ、アルモ全般的ノ對策ヲ審議セラレタク其ノ項目ニツキ參考ノ爲別紙幹事案ヲ配布ス

農村實地調査ノ實務ニ當レル南崎技師ヨリ其ノ成績ヲ輯録セル農村衛生狀態實地調査成績ニ基キ調査成績ノ要點ヲ説明ス

委員長代理 調査ヲ進ムベキ方針ニツキ意見ヲ問フ

宮川委員 調査ノ方針及之ニ要スル經費ニツキ質問ス

赤木局長 農村衛生状態ハ調査ノ成績ニ基キ改善ヲ要スル事項多クアラムモ其ノ中急ヲ要スルモノヨリ如何ナル事項ヲ如何ナル方法ニヨリ改善スベキカニツキ具體案ヲ審議決定セラレタシ而シテ之ガ實施ニ當リ經費ヲ要スルモノハ及ブ限リ豫算ヲ得ルヤウ努力セム

横手委員 一事項宛急ヲ要スルモノヨリ議了シタシソノ事項ハ先ヅ農村人體寄生蟲豫防ヨリ始メタシ

矢作委員 別紙事項中左ノ通り修正意見アリ可決

1、人體寄生蟲ノ次ニ地方病ヲ加フルコト

2、皮膚疾患ノ次ニ齒牙疾患ヲ加フルコト

委員長代理 如何ナル事項ヨリ着手スベキカニツキ諮リシニ左ノ通り意見アリ

唐澤委員 清潔保持改善ヨリ着手シタシ農村實地視察ニ於テ特ニ之ノ點ヲ感ジ居レリ殊ニ農村ノ小學

校ニテ風呂ヲ設置シ兒童ニ入浴セシメル如キハ一方法デアリ必要ナルコトナリ

矢作委員 衛生思想啓發及休養施設ニ付第一ニ着手シタシ

那須委員 醫師、産婆ノ普及ヨリ着手シテハ如何

國家ハ國民ノ知識ノ最低限度ヲ保證スルト同様ニ其ノ健康ノ最低限度ヲ保全スル責任アリ

農村巡回診療班ノ如キ效果アラム

矢作委員 臺灣ハマリア豫防ノ見地ヨリ家屋及其ノ敷地ノ清潔保持ニ努メツ、アリ

参考ノタメ之ガ資料ヲ取寄セラレタシトノ希望ニ對シ高野幹事ヨリ滋賀縣ニ於ケルマリア豫防ノ

狀況ヲ紹介シ臺灣ノハ多少狀況ヲ異ニスベキモ參考トナラント存ズ御希望通り取寄スベシト答フ

那須委員ヨリ醫療普及ニツキ調査シタル資料アラバ配布アリタシトノ申出ニ對シ白松幹事ヨリ恰モ御

希望ノ知キ事項ニツキ調査中ニテ數府縣ノ報告未着ナルモ全部揃ヒ次第整理シテ差上グベシト答フ

佐伯委員 地方ノ狀況ニヨリ改善ヲ要スル事項ニ自ラ差異アルベク又何レノ事項モ重要ナレバ小委員

會ヲ設ケ分擔シテ各般ノ事項ヲ調査決定シテハ如何又民族、農村ノ兩特別委員會ハ關聯セル事項モ

アルガ委員ノ指名ニ當リコノ點ニツキ考慮セルヤトノ意見ニ對シ局長及伊藤幹事ヨリ専門的ニ調査

ヲ要スル事項及文書ニ纏メル際等ニハ小委員會ニ附託スルコトアルベク又兩特別委員會ハ必要アラ

バ當局ニテ便宜連絡ノ途ヲ講ズベシト答フ

其ノ他種々意見ノ交換アリタル後先ヅ第一ニ農村人體寄生蟲及地方病ノ豫防ニ關スル事項ヲ主トシ

之ニ附帶シテ農村便所改善及農村飲料水改善ニ關シ調査ヲ進ムルト共ニ農村民衛生思想啓發ニ關ス

ル事項ヲ調査シ漸次他ニ及ボスベキコトニ決シ尙次回ハ柳澤委員長ト打合セノ上近日中ニ開會スル

コトニ申合セ午後四時散會

農村衛生改善事項

- 一、農村乳幼児健康増進
- 一、農村醫師産婆ノ普及
- 一、農村飲料水改善
- 一、農村住宅改善
- 一、農村便所改善
- 一、農村榮養改善指導
- 一、農村人體寄生蟲豫防
- 一、農村住民トラホーム豫防
- 一、農村住民結核豫防
- 一、農村住民眼疾患皮膚疾患豫防
- 一、農村民花柳病豫防
- 一、農村傳染病豫防
- 一、農村住民ノ休養施設

- 一、農村民清潔保持改善
- （湯場施設、臺所改善、防蠅、防蚊裝置改善、家畜舎改善）
- 一、農村部落ノ家屋周圍清潔保持
- （汚水溜、肥料溜、雨水排除裝置ノ改善）
- 一、農村民衛生思想啓發

第二回

昭和五年七月九日午後一時四十分ヨリ中央會議所ニテ開會
出席者 委員長柳澤伯爵

- 宮川、栗本、佐伯、西崎、赤木、横手各委員
- 伊藤、高野、氏原各幹事
- 南崎、内藤、野邊地各技師
- 議事ノ經過

委員長 開會ヲ告グ農村民體寄生蟲及地方病ノ豫防ヲ議題トシ意見ヲ徵ス八時六分議事進行ニ過リテ
高野幹事 人體寄生蟲ノ豫防撲滅ニ關シ内務省ニテ從來施行セル事項ニツキ其ノ經過ヲ報告シテ曰ク

農村衛生實地調査ノ結果農村住民ノ平均八五、七三%ハ何等カノ寄生蟲ヲ保有スルヲ發見シ之ハ我ガ國民ノ六割餘ヲ占ムル農村民ノ保健上寒心スベキ事象ナルヲ認メ大正八年六月依命通牒ニ依リ寄生蟲驅除ニ關シ道府縣ノ支出スル經費ニ對シ國庫ヨリ之ニ補助シテ寄生蟲ノ驅除ヲ獎勵シツ、今日ニ至レルガ其ノ補助額モ多キトキハ道府縣ノ支出額ニ對シ三分ノ一、尠ナキトキハ十六分ノ一、昭和四年度ハ八分ノ一(總額一萬餘圓)トイフヤウナ状態ナリ又山梨縣ニハ特殊ノ地方病アリ之ヲ同縣ニテ大正十四年以降年々四萬圓ヲ支出シ十ヶ年計畫ニテ撲滅スルコト、ナリシガ昭和四年度ヨリ從來ノ實績ニ徴シ更ニ總額中ニ七十萬圓ヲ追加シ豫定年限内ニ撲滅ヲ期スルコト、ナリ同年度ヨリ右事業ニ對シ國庫モ年々四萬圓ヲ補助スルコト、ナレリ斯クテ府縣ニヨリ相違アルモ各地方トモ寄生蟲保有者檢査及驅除ヲ勵行シツ、アリ昭和四年度中ニ於ケル其ノ糞便檢査人員ハ五十五萬餘人、施藥人員百餘萬人ナリ右様ノ狀況ナルヲ以テ之ニ更ニ法律ノ根據ヲ以テシ補助ノ額モ一定セバ一層效果ヲ收ムルコト、存ズ、山梨縣下ノ如キ特殊ナル地方病ニ在リテハ中間宿主ノ撲滅ヲ圖ルコトヲ以テ能事トナスモ十二指腸蟲及蛔蟲ニ在リテハ之ガ根本的ナル豫防撲滅策トシテ糞尿ノ處理ヲナスコトヲ肝要トス内務省考案ノ改良便所ハ之ガ一策ニシテ之ニ不溶解性物ヲ多ク入ル、ト塞ガル處モアルヲ以テ時々掃除ヲ要スルコトアリソノ爲ニ非常掃除口ヲ附スルヲ便トス、其ノ他肥料溜ヲ設クルモ一法ナリ、要スルニ蟲卵ヲ腐熟セシメテ之ガ生存力ヲ斷ツニ在リ

宮川委員 一旦驅除スルモ何年間位經過スレバモトノ數ニ返ヘルガ

南崎技師 埼玉縣下大麻村ニテ先年施行セル再感染調査ノ成績ヲ報告ス即チ一ト夏過グルトキハ四八

%感染スルモ其ノ蟲卵ノ數ハ少ナシ

西崎委員 生漬ノ野菜ヨリ感染スルコト相當アルベシ

氏原幹事 熊ノ蛔蟲驅除法トシテ其ノ道ノ人ハ之ニ牛乳ヲ與フル例ヲ引キテ榮養ト寄生蟲トノ間ニ關

係アルニ非ズヤ

佐伯委員 ビタミンAヲ含ム食物ヲ多ク與フルト人工的ニ寄生蟲ヲ寄生セシムルコト難キ動物試驗ニ

徴シ肉食ヲ多クナス都會人ニ寄生蟲少ナク菜食ニ偏スル農村民ニ寄生蟲多キニ非ズヤ

宮川委員 蛔蟲ノ保有ハ都鄙人大體同一ナルモ十二指腸蟲ハ兩者間ニ大差アリ

來ル七月十八日大宮ノ内務省衛生局糞便檢査所ヲ視察スルコトニ申合セ午後三時三十分散會

第三回

昭和五年七月十八日午前十時内務省會議室ニ

委員 長 柳澤伯爵

宮川、栗本、西崎、赤木、横手各委員

伊藤、白松、氏原各幹事、南崎技師

參集

本日、埼玉縣下大宮實驗所（内務省衛生局ニ屬シ寄生蟲及消化器傳染病豫防ニ關スル實驗所）ヲ視察シ午後四時散會

第四回

昭和五年十月六日午後一時四十分ヨリ中央會議所ニテ開會

出席者 委員長 柳澤伯爵

宮川、栗本、佐伯、唐澤、西崎、赤木、横手、宮島、那須各委員

伊藤、白松、高野、氏原各幹事

南崎、樫田、内藤各技師

議事ノ經過

委員長 本日ハ別紙寄生蟲病豫防法案ニ就テ審議スベキ旨ヲ述ブ

氏原幹事 法案ニツキ一應高野豫防課長ヨリ説明ヲ聽取セラレタキ由ヲ諮ル

高野幹事 從來寄生蟲豫防ニ對シテハ補助ヲナシツ、アルモノノ金額定マラザルヤウノ事情モアレバ

依ルベキ所ヲ示スヲ便トシ本法案ヲ立案シタル次第ナリ

委員長 總括的ニ質問シ後逐條ニ審議セラレタシ

宮島委員 ヘラリヤ病、マラリア及ワイルス病ヲ加フル意向ナキヤ

高野幹事 寄生蟲病ト地方病トヲ一括セムトセシガ錯雜ヲ避クルタメ先ヅ本法ハ寄生蟲ノミトシ、地

方病モ固ヨリ重要性ヲ帶ブルモノナルヲ以テ地ノ取扱ニ讓リヘラリアニ就テハソノ豫防措置ニツキ

尙研究ノ餘地アルト一面本案ハ糞便ノ處置ニ重點ヲ置キタルタメ之ヲ省ケリ

宮島委員 糞便處置法案トイフガ更ニ適切ナラム

高野幹事 糞便ノ處置ノミニ限ラズ仲間宿主ノ問題モアリ

委員長 ヘラリア病トハ何ゾヤ

高野幹事 症狀トシテ尿ガ濁ル又ハ臍皮病ノ形ヲトルコトモアリ

横手委員 補助ノ規定アルガンノ金額ハ何程位ナルヤ

高野幹事 從來ノ金額ヨリ下ルコトナシナルベク多額ニ補助シタキ希望ナリ御參考ノタメ從來ノ配布

額調ヲ差上グ

宮川委員 治療ノコトガ表面ニハナイガ豫防中ニ含マル、ヤ

高野幹事 然リ從來治療ニ對シテモ補助シツ、アリ

唐澤委員 根本ニ觸レルヤウナ施設ヲ講ジタシ

高野幹事 本法案ノ骨子タル糞便ノ處理ハソノツモリナリ

宮川委員 糞便ノ處置ニ重點ヲ置クトセバ山川ノ生ノ蟹ヲ食シテカ、ル肺臟デストマヲ削ルコトヲ望

ム

赤木委員 具體的ニ豫防措置ノツクモノヲ本法ニ入レ然ラザルモノハ見合セタリ

宮島委員 ソノ意見ナラヘラリアモ蚊ノ驅除ヲナセバ良イ便所ニ補助スルモ蚊張ニ補助スルモ同一義

ニアラズヤ

赤木委員 己レヲ守ルノミノモノハ不可ナリ他ニ危害ヲ及ボスヤウナモノナルヲ要ス

委員長 肺臟デストマ病ヲ削除シテ差支ナキヤ

氏原幹事 糞便ト關係アルモノ、ミニ限ラス少シデモ範圍ヲ廣メテヘラリアモマラリアモ入レテハ如

何

赤木委員 豫防方法アルカ

氏原幹事 蚊ノ驅除米國ハ大規模ニヤツテ居ル

宮島委員 シヤム國ニテ官憲ハ法律ヲツクク便所ノ改善ヲ強制セリ然ルニ便所ハ出來タガ人民ハ之ヲ

利用セズ然ルニロツクフエラーノ人々ハ同ジクシヤムニテ教育スルト共ニ便所ノ改善ヲ奨メシニ便
所ノ改善セラレタルモノハ前者ノ三分ノ一ニ過ギザリシモ人民ハ全部之ヲ使用セリ惟フニ衛生上ノ
改善ハ教育之ニ伴フニ非ザレバ法律ナドノ形ノミ整フモ實際上ノ效果擧ガルモノニアラズ

委員長 逐條ニツキ審議スベキ旨ヲ述ベ先ズ第一條ヲ附議ス

宮川委員 日本住血吸蟲病トイハズシテヨイカ

赤木委員 印度ノ住血吸蟲病モ日本ニ侵入スレバ本法ニテ處置シテ可ナリ、且日本ヲ附スルトキハ我

ガ國ハ本場ノ如ク見エテ面白カラズ

肺臟デストマ病ヲ削除スルコトニ決定

第二條 異議ナシ

第三條 「若ハ喀痰ノ」五字ヲ削除スルコトニ決定

第四條

栗本委員 豫防中ニ治療ヲ含ムヤ

赤木委員 他人ト交渉アル人ノ病氣ニツキ治療ヲナスコトハ治療ソノモノガ豫防ニナル

第五條 異議ナシ

第六條

那須委員 北海道地方費トハ何ゾヤ

赤木委員 北海道地方費ハ公共團體ナリ北海道ニテハ官治ハ拓殖費自治ハ北海道地方費ヲ以テ之ヲ施

行ス

第七、八、九、十條及附則 異議ナシ

伊藤幹事 農村巡回衛生展覽會ノ資料ニツキ立案中ナル旨ヲ述ブ

次回ハ來ル十六日開會右展覽會資料ニツキ審議スルコトニ申合セ午後三時散會

寄生蟲病豫防法案

第一條 本法ニ於テ寄生蟲病ト稱スルハ蛔蟲病、十二指腸蟲病、住血吸蟲病、肝臟「ヂストマ」病及肺臟「ヂストマ」病ヲ謂フ

第二條 前條ニ掲クルモノノ外本法ノ適用ヲ必要トスル寄生蟲病アルトキハ主務大臣之ヲ指定ス

第三條 地方長官ハ寄生蟲病ノ豫防上必要ト認ムルトキハ健康診斷ヲ行ヒ又ハ糞便若ハ喀痰ノ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ健康診斷又ハ糞便若ハ喀痰ノ検査ノ費用ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス
第四條 地方長官ハ糞便其ノ他寄生蟲病傳播ノ媒介トナルベキ物件ノ處置ニ付寄生蟲病ノ豫防上必要

ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第五條 市町村ハ地方長官ノ指示ニ從ヒ寄生蟲病ノ豫防ニ關スル施設ヲ爲スヘシ

第六條 北海道地方費又ハ府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ施設ヲ爲ス費用ノ支出ヲ爲ス市町村ニ對シ其ノ費用ノ補助ヲ爲スヘシ

第七條 北海道地方費又ハ府縣ハ第四條ノ規定ニ依リ糞便其ノ他ノ物件ノ處置ヲ爲ス者ニ對シ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ補助スルコトヲ得

第八條 國庫ハ前二條ノ補助ノ爲其ノ他寄生蟲病ノ豫防ノ爲費用ノ支出ヲ爲ス北海道地方費又ハ府縣ニ對シ其ノ支出額ノ六分ノ一ヲ補助ス

第九條 第四條ノ規定ニ依ル地方長官ノ命令ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
第十條 本法中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノトス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條ノ規定ニ拘ラス國庫ハ當分ノ内寄生蟲病ノ豫防ノ爲費用ノ支出ヲ爲ス北海道地方費又ハ府縣ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ其ノ費用ノ補助ヲ爲スコトヲ得

第五回

昭和五年十月十六日午後一時四十五分ヨリ中央會議所ニテ開會

出席者 委員長 柳澤伯爵

宮川、栗本、唐澤、赤木、横手、宮島各委員

伊藤、白松、高野、氏原各幹事

南崎、野邊地、櫻田、内藤各技師

議事ノ經過

委員長 農村巡回衛生展覽會資料案ニツキ審議スベキ旨ヲ述ブ

伊藤幹事 農村ニ於ケル衛生思想普及ノ一助トシテ農村巡回衛生展覽會資料ヲ作製セムトス、其ノ内容ハ卑近ニシテ農村民ノ頭ニ入り易キモノヲ選定シ價格ハ一組三百圓内外トシ、分量ハ貨物自動車一臺ニ積ミ得ル程度ノモノトシ衛生局ニテ作製ノ上數組購入シ見本トシテ府縣ニ貸與スルト共ニ府縣ニモ購入セシメテ村カラ村ニ巡回展覽セシメントス尙配布ノ資料案ハ各技師擔當シ南崎技師ヲ主任トシテ取纏メタルモノナリ

南崎技師 原案ニ基キ逐次下繪アルモノハ下繪模型アルモノハ模型ニ依リ説明シ審議ヲ進メ尙用語字

句ハ内務當局ニ一任スルコトニ決シ午後四時散會

第六回

昭和六年一月二十日午後二時ヨリ内務省會議室ニ於テ開會

出席者 宮川、栗本、佐伯、唐澤、矢作、西崎、赤木、横手、宮島、那須各委員

伊藤、白松、高野各幹事、南崎、内藤、野邊地各技師、飯村、草間兩防疫官

議事ノ經過

柳澤委員長欠席ニツキ栗本委員代リテ座長席ニツク

伊藤幹事 本日ハ曩ニ柳澤委員長臺灣ニテ視察セラレタル屎尿處置及之ト關聯シテ寄生蟲ノ豫防ニツキ談話アル筈ナリシモ急ニ腸ヲ害セラレ出席不能ニナリタル爲各位不惡諒承セラレタシトノコトナリ、依テ先般來御審議ノ結果ニ基キ作製シ此ノ室ニ陳列セル農村巡回衛生展覽會資料ニツキ御批評ヲ願ヒ差支ナクハ圖表ハ印刷ニ附スル等成ルベク廉價ヲ以テ普及ノ方法ヲ講ジタシ

委員長代理 御意見アラバ申述ベラレタシト諮リ

各委員ヨリ夫々修正意見アリ別紙ノ通り修正シ又文字ハ横書ノ場合ハ凡テ右カラ左ヘ統一スルコトニ決シ尙試験的ニ二月中開催ノ千葉縣農村衛生講習會ニテ一般ノ觀覽ニ供シ其ノ批評ヲ參考トスル

午後三時四十分散會

○ 農村巡回衛生展覽會資料目錄

母性小兒

○印アモノ、外ハ繪畫圖表

- 一、妊娠中ノ心得
- 一、乳兒ノ榮養品ハ母乳ガ第一
- 一、母乳ノ飲マセ方
- 一、子供ノ睡眠時間
- 一、農繁期托兒所
- 一、離乳期ノ食物
- 一、遺傳ト結婚
- 一、母性保護

寄生蟲

- 一、十二指腸蟲感染ト豫防
- 一、十二指腸蟲驅除藥
- 一、十二指腸蟲實物標本(各地方ニテ作製)
- 一、蛔蟲ノ感染ト豫防
- 一、蛔蟲標本(各地方ニテ作製)
- 一、海仁草ノ服用方法
- 一、肺臟ヂストマンノ感染
- 一、肝臟ヂストマンノ感染
- 一、條蟲ノ豫防
- 一、マラリアノ豫防
- 一、ワイル氏病(黃疸疫)ノ豫防

飲料水

- 一、農村ノ簡易水道
- 一、湧泉ノ改良

一、鐵分取ツ水濾器

○一、優良井戸ト不良井戸ノ模型

○一、家庭濾過裝置模型

一、漂白劑ニ依ル消毒方法

榮 養

一、動物性食品ト植物性食品ノ榮養價一覽表

○一、榮養副食物 模型六種

○一、榮養辨當 模型六種

一、偏食ニ對スル注意

酒ト煙草

一、酒、煙草ヲ節約セヨ

一、酒飲ミノ疾病

○ (附屬模型) 腦、心臟、腎臟、胃、肝臟

一、慢性アルコール中毒

一、酒ノ害

農村住宅

○一、在來農村住宅ノ寫真各種 十四枚

一、農村住宅ノ優良設計圖 三枚

一、農村臺所改善注意事項

一、農村住宅改良事項

一、畜舍堆肥舍ノ改良

一、排水設備ノ改良

農村ノ清潔保持

一、共同風呂ノ改善

- 一、不潔ヨリ來ル農村民ノ疾病
- 一、洗濯ト日光消毒(日光ニヨル細菌ノ死滅時間)
- 一、身體ヲ清潔ニセヨ
- 一、ノミ、ト、シラミ退治

疾病豫防

- 一、農民ノ疾病
- 一、結核豫防 三枚
- 一、花柳病豫防 二枚
- 一、トラホーム豫防三枚
- 一、毒ナ茸ヲ食ベルナ
- 一、毒草ニ氣ヲツケヨ
- 一、腐ツタモノヲ食ベルナ

傳染病

- 一、消化器傳染病ノ感染經路
- 一、蠅ヲトレ
- 一、蠅ヲ注意セヨ
- 一、疫痢ノ豫防 二枚
- 一、改良便所ノ寫眞 二枚
- 一、改良便所ノ模型

農村家庭藥品

- 一、體温器
- 一、稀沃度丁幾
- 一、ガーゼ
- 一、ヒマシ油
- 一、灌腸器
- 一、亞鉛華澱粉
- 一、アルコール

- 一、グリセリン
- 一、アムモニア
- 一、水 囊
- 一、蟲下シ(海仁草)
- 一、絆創膏
- 一、繃 帶

